

地方創生関連交付金

1 令和元年度事業費

(1) 地方創生推進交付金

(単位：円)

番号	事業の名称	総事業費	財源		
			国交付金	その他	一般財源
(1)	浜松市次代を見据えた産業イノベーションと人材育成プロジェクト	35,600,968	17,051,251	1,312,200	17,237,517
(2)	SDGsで目指す多文化共生都市推進事業	94,487,394	47,174,536	0	47,312,858
(3)	三遠南信地域情報活用・発信事業	1,000,000	500,000	0	500,000
合 計		131,088,362	64,725,787	1,312,200	65,050,375

2 各事業の評価

(1) 浜松市次代を見据えた産業イノベーションと人材育成プロジェクト

【目的】

本事業は、既存のものづくり技術と IT 技術等とを融合させ、新産業の創出や既存産業の高度化・高付加価値化を図り、新たな市場の開拓と競争力のある複合的な産業構造の確立を目指すとともに次代の産業を担う人材の育成を図るものである。

【事業費の内訳】(単位：円)

事業名	総事業費	財源		
		国交付金	その他	一般財源
① ベンチャー支援事業	5,788,160	2,237,980	1,312,200	2,237,980
② ハッカソン事業	6,996,000	3,498,000	0	3,498,000
③ 成長産業創出支援事業	4,799,743	2,399,871	0	2,399,872
④ 商業振興支援事業	4,666,065	2,240,400	0	2,425,665
⑤ 子どもの才能を伸ばす課外講座開催事業	13,351,000	6,675,000	0	6,676,000
合 計	35,600,968	17,051,251	1,312,200	17,237,517

※「①ベンチャー支援事業」の財源の内、その他は受講料等の収入

【事業の内容】

① ベンチャー支援事業

ア. ベンチャー経営塾

ベンチャー企業経営者や創業希望者を対象に経営戦略やマーケティング等のスキル・ノウハウを学ぶ研修を実施した。

研修日 : 令和元年9月～令和2年2月(研修6日間)のプログラムで実施

参加者 : 14人(市内の会社役員、会社員、大学生)

イ. ベンチャー支援アドバイザー

ベンチャー支援やオープンイノベーションに関して専門的な知見を有する「ベンチャー支援アドバイザー」から、本市のベンチャー支援政策について助言指導等をいただいた。

[令和元年度浜松市ベンチャー支援アドバイザー]

スタンフォード大学 主任研究員・医師 池野文昭 氏
株式会社日本総合研究所 プリンシパル 東 博暢 氏

② ハッカソン事業

起業意欲の向上やベンチャーコミュニティの活性化を図るため、本市ならではのテーマによるハッカソンイベント（短期集中型開発イベント）を開催した。

開催日 : 令和元年 11 月 30 日（土）～12 月 1 日（日）
開催場所 : The Garage for Startups（浜松市中区高林）
テーマ : AI・IoT × 未来の農林水産業
参加者 : 8 チーム（44 人）
その他 : 優秀アイデア「農作物無人販売支援装置」が令和 2 年 6 月に製品化

③ 成長産業創出支援事業

市内の中小ものづくり企業とソフトウェアベンダーの連携により、ものづくり現場の IoT 化を促進させるため、次の事業を実施した。

ア. 啓発セミナー・人材育成

市内の中小ものづくり企業およびソフトウェアベンダーを対象とした IoT 技術活用セミナー、ビッグデータ関連の開発技術向上のための勉強会を開催した。

開催日	内容	参加人数
令和元年 6 月 18 日（火）	RFID 導入による IoT 化勉強会	17
令和元年 7 月 10 日（水）	DX 勉強会	24
令和元年 9 月 3 日（火）	IoT 化事例勉強会	21
令和 2 年 1 月 28 日（火）	PLC ラダー言語の基本実習	20

イ. 中小ものづくり企業とソフトウェアベンダーのマッチング支援

市内の中小ものづくり企業に、企業の課題解決や生産性向上に資するソリューションを提供可能であるソフトウェアベンダーを紹介する等、協業に向けた支援を実施した。

ウ. 中小ものづくり企業の IoT 化等の促進支援

市内の中小ものづくり企業の新たな産業の創出につながる IoT 化・システム化を促進するため、システム開発等に要する経費の一部を支援した。

エ. IoT 活用事例の広報

市内の中小ものづくり企業やソフトウェアベンダーに IoT 活用事例を紹介する成果報告会を開催し、他の事業者への横展開を図った。

開催日 : 令和2年2月25日(火)
開催場所 : 研修交流センター401 会議室
名称 : IoT 活用事例セミナー
来場者 : 29名

④ 商業振興支援事業

販路開拓支援等による事業者の経営体質強化を図るため、東京・浅草の商業施設「まるごとにつぼん」へアンテナショップを継続出展した。

出展場所 : 「まるごとにつぼん」内「おすすめふるさと(市町村展示スペース)」
(東京都台東区浅草二丁目)
出展数 : 20点程度の特選品

⑤ 子どもの才能を伸ばす課外講座開催事業

将来の地域産業を担う人材を育成するため、産学官連携による、優れた子どもの才能を伸ばす特別課外講座を開催した。

ア. 浜松 IT キッズプロジェクト

ロボットの組み立て、ロボット制御プログラミング、ITに必要な算数・理科・英語などの知識を習得するための講座を開催した。

開催日 : 平成31年4月～令和2年3月
(1学年あたり月に1～2回の授業、全学年で全125回の授業)
開催場所 : 静岡大学浜松キャンパス
参加者 : 小学3年生～中学3年生までの児童・生徒115名

イ. サイエンスダヴィンチキッズプロジェクト

専門家の助言指導を受けながら自身の研究テーマを探求するほか、地域の自然や産業体験、物理等の実験、観察などを行う講座を開催した。

開催日 : 令和元年6月～令和2年3月 計9回
開催場所 : 静岡大学浜松キャンパス
参加者 : 小学生4名、中学生14名

ウ. ものづくりダヴィンチキッズプロジェクト

自分の手で作ることを楽しみを味わい、親子で協力し、創意工夫しながらオリジナル作品を完成させる工作教室を開催した。

開催日 : 平成31年4月～令和2年2月 全11講座(21日間)開催
開催場所 : 主に静岡大学浜松キャンパス
参加者 : 小・中学生とその保護者20組

エ. トップガン教育

「ひとりひとりの得意を特異に伸ばす教育システムの確立」に向けた長期的人材育成事業として、算数ゲーム大会などを開催した。

◎第7回 MATH やらまいか（算数ゲーム大会）

開催日：令和元年12月7日（土）

開催場所：浜松科学館みらいーらホール

参加者：インターネット上の予選（小学生301名が参加）を通過した小学生30名

◎第4回小・中理科研究プレゼンテーションコンテスト

開催日：令和元年10月27日（日）

開催場所：浜松科学館みらいーらホール

参加者：小・中学生40名（観覧者263名）

【KPIの達成状況】

指標の名称	事業開始前	令和元年度	令和2年度	令和3年度
新技術・新製品開発などの事業化件数	40件	目標： 40件	目標： 40件	目標： 40件
		実績： 46件	実績：	実績：
		評価： 目標値を達成	評価：	評価：
創業支援事業に伴う新規創業者数（法人登記数）	115件	目標： 120件	目標： 125件	目標： 125件
		実績： 130件	実績：	実績：
		評価： 目標値を達成	評価：	評価：
子どもの才能を伸ばす特別課外講座に係る全国レベルのコンテスト入賞者数	12人 ※H27～H30年度の計	目標： 1人	目標： 1人	目標： 1人
		実績： 1人	実績：	実績：
		評価： 目標値を達成	評価：	評価：

(2) SDGsで目指す多文化共生都市推進事業

【目的】

SDGsのキーワードの1つである「誰1人取り残さない」社会の構築には、多文化共生社会の実現が大きなポイントである。本事業は、SDGsに関する市民の理解を深めるとともに外国人市民が社会の構成員としてまちづくりに主体的に参画できる環境整備を進め、多文化共生の推進を図るものである。

【事業費の内訳】（単位：円）

事業名	総事業費	財源		
		国交付金	その他	一般財源
① SDGsに係るシンポジウム等運営委託	2,138,320	1,000,000	0	1,138,320
② 多文化共生センター管理運営委託等	27,303,561	13,651,780	0	13,651,781
③ 外国人学習支援センター管理運営委託等	58,753,061	29,376,530	0	29,376,531
④ 外国人市民カウンセリング	528,650	264,325	0	264,325
⑤ サンバコンテストの開催	5,763,802	2,881,901	0	2,881,901
合計	94,487,394	47,174,536	0	47,312,858

【事業の内容】

① SDGsに係るシンポジウム等運営委託

有識者による講演などを通して、SDGsに関する理解を深めるとともに、協働（パートナーシップ）して取り組む意義について考え、本市における活動を促進するため、シンポジウムを開催した。

開催日：令和元年8月27日（火）

開催場所：アクトシティ浜松 コンgressセンター

テーマ：SDGsを共通目標とした連携・協働

内容：基調講演 金沢工業大学 SDGs推進センター長 平本督太郎 氏
パネルディスカッション、パネル展示

来場者：182名

② 多文化共生センター管理運営委託等

多文化共生を推進する「多文化共生センター」において、多文化共生に資する人材育成、や多様性を生かしたまちづくり、自治会を対象とした地域共生に関する支援、災害に備えた訓練など、外国人市民の定住化に対応した様々な支援を包括的に実施した。

センター利用者数：21,534名

（生活相談：1,231名、情報提供：4,825名、研修・自主活動等：15,478名）

③ 外国人学習支援センター管理運営委託等

外国人の子供から大人までを対象とした総合的な学習支援の拠点として事業を継続す

るなかで培ってきた日本語教育のノウハウやボランティアネットワークを活用し、「日本語教室」「日本語学習支援ボランティア養成講座」「多文化体験講座」「ポルトガル語講座」「地域日本語学習支援事業」などの事業を実施した。

講座等受講者数：7,029名

(日本語教室：2,995名、ボランティア養成講座：925名、多文化体験講座：2,450名、ポルトガル語講座：427名、地域日本語学習支援事業：232名)

④ 外国人市民カウンセリング

多種多様にわたる外国人市民の相談業務のうち、心の悩み事に対するカウンセリングダイヤルを開設し、カウンセリングを実施した。

[ポルトガル語専門ダイヤル]

相談日時：毎週金曜日 午後7時30分～9時30分

相談実績：24件（ポルトガル語23件、日本語1件）

⑤ サンバコンテストの開催

全国最多のブラジル人が居住しているという本市の特徴を活かし、日本人市民と外国人市民の交流を促進するとともに、多文化共生都市・浜松を全国に発信するため、全国のサンバチームが参加するパレード形式のサンバコンテストを実施した。

主催：浜松カップ「フェスタ・サンバ2019」実行委員会

会場：中区鍛冶町通り

日時：令和元年10月6日（日）

来場者：約18,000名

出場者：サンバチーム 7チーム 283名

【KPIの達成状況】

指標の名称	事業開始前	令和元年度	令和2年度	令和3年度
外国人市民との相互理解や交流を深める共生社会づくりの市民満足度	10%	目標： 12.0%	目標： 14.0%	目標： 16.0%
		実績： 9.4%	実績：	実績：
		評価： 目標値を達成せず	評価：	評価：
外国人の子どもの不就学ゼロの維持	1人	目標： 0人	目標： 0人	目標： 0人
		実績： 4人	実績：	実績：
		評価： 目標値を達成せず	評価：	評価：

(3) 三遠南信地域情報活用・発信事業

【目的】

本事業は、三遠南信地域の人口減少や雇用創出などの地域課題解決のために必要な情報を整合し、地域内の産学官金などのあらゆる主体による取組の活発化、また、地域一体となった取組の連携促進を図るものである。

【事業費の内訳】（単位：円）

事業名	総事業費	財源		
		国交付金	その他	一般財源
① 三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）	1,000,000	500,000	0	500,000
合 計	1,000,000	500,000	0	500,000

【事業の内容】

① 三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）

ア. オープンデータ活用・普及啓発のための市民ワークショップ

オープンデータを活用した三遠南信地域の魅力の発信や、地域住民向けのサービス開発などを促進するため、フィールドワークによる地域の魅力を掘り起こし、オープンデータとして整備する市民向けワークショップを開催した。

[飯田市開催]

日 時 : 令和元年9月29日(日)
会 場 : 天竜川総合学習館かわらんべ
参加者数 : 15人(南信州地域を対象)

[浜松市開催]

日 時 : 令和元年11月23日(土)
会 場 : 浜松市福祉交流センター
参加者数 : 14人(遠州地域を対象)

[豊橋市開催]

日 時 : 令和元年11月24日(日)
会 場 : アイプラザ豊橋
参加者数 : 12人(東三河地域を対象)

イ. オープンデータ活用・普及啓発のための職員研修

オープンデータを活用した三遠南信地域の魅力の発信や、地域住民向けのサービス開発などを促進するため、SENA 構成員の職員向けのオープンデータ研修会を開催した。

[飯田市開催]

日 時 : 令和元年11月19日(火)
会 場 : 飯田市文化会館2階 会議室1
参加者数 : 7人(南信州地域を対象)

[浜松市開催]

日 時 : 令和元年 11 月 22 日 (金)
 会 場 : 浜松市市民協働センター 第 1 研修室
 参加者数 : 5 人 (遠州地域を対象)

[豊橋市開催]

日 時 : 令和元年 11 月 21 日 (木)
 会 場 : 豊橋市役所東館 12 階 東 123 会議室
 参加者数 : 6 人 (東三河地域を対象)

ウ. シビックパワーバトル SENA2020

三遠南信地域のオープンデータを利用し、今まで埋もれていたまちの魅力を発信するシビックパワーバトルを開催し、三遠南信地域内外にオープンデータの普及啓発を行った。

日 時 : 令和 2 年 2 月 6 日 (木)
 会 場 : 浜松市地域情報センター3 階第 1 研修室
 参加者数 : 6 団体 (19 名)
 テ ー マ : 「わたしの好きな〇〇市」
 観覧者数 : 約 70 名
 結 果 : 最優秀賞 : 浜松市「浜松学芸高等学校」
 オーディエンス賞 : 駒ヶ根市「Team2612」
 CPA 賞 : 袋井市「静岡理工科大学情報学部水野研究室」

【KPI の達成状況】

指標の名称	事業開始前	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
オープンデータライブラリー閲覧件数	0 件	目標: 0 件	目標: 1,000 件	目標: 11,000 件
		実績: 0 件	実績: 2,078 件	実績: 11,204 件
		評価: —	評価: 目標値を達成	評価: 目標値を達成
オープンデータライブラリーを活用した新規事業件数	0 件	目標: 0 件	目標: 8 件	目標: 9 件
		実績: 0 件	実績: 9 件	実績: 10 件
		評価: —	評価: 目標値を達成	評価: 目標値を達成